

再評価時再評価結果(平成26年度)

担 当 課 : 徳島県砂防防災課
担当課長名 : 大和 章人

事業の概要

事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県三好市井川町吹	箇所名	吹地すべり防止区域		
事業概要	地すべり防止施設(排水ボーリング工、水路工、アンカー工)				
事業の目的・必要性	吹地すべり防止区域では、平成16年12月の豪雨により民家裏で地すべりが発生し、民家の倒壊や市道が埋没する被害が発生した。また、周辺の民家にクラックが発生するなど地すべり兆候が見受けられ、地すべり拡大の恐れがあり、早急な対策を講じる必要があった。区域内には、人家や市道があり、一級河川の井ノ内谷川にも面するなど、本事業は社会的にも重要性が高い。				
総事業費	850 百万円				

位置図 計画概要図

吹地すべり防止区域平面図

位置図

吹地すべり防止区域

全景写真

H16被災状況

民家のクラック

事業評価結果

事業全体の投資効率性	基準年度	B/C	残事業B/C	総費用		総便益	
	平成26年度	4.0	18.3	9.7億円	工事費・調査費 等	38.4億円	人家32戸、道路 等
事業の効果等	・保全対象の人家32戸とその住民の人命と財産を保全する。(一般資産被害軽減効果・人的被害軽減効果) ・市道等の公共土木施設を保全する。(公共土木施設等被害軽減効果) ・家庭や国・地方公共団体による清掃や土砂撤去被害の軽減。(応急対策費用軽減効果) ・森林の保全、ライフライン切断による波及被害の防止。(B/C以外の効果) 等						
社会経済情勢等の変化	近年、ゲリラ豪雨等により多発する土砂災害に対して防災意識が一層高まっている中、当事業の実施においては土砂災害に対して地域の安全や避難路を確保しながら、土地利用や保全対象に影響を与えることなく、防災面の向上に寄与している。						
事業の進捗状況	災害の発生した地すべりブロックではこれまでの対策により、地すべり変動が沈静化している。一方で、周辺のブロックについて地すべり変状が見られることから継続して観測及び対策工を実施している。 平成26年度の進捗率は事業費ベースで82%である。						
感度分析	感度分析の結果においても事業の効果は確保されている。 残事業費+10%:3.9,残事業費-10%:4.1,工期+10%:4.0,工期-10%:3.9,一般資産+10%:4.2,一般資産-10%:3.6						
事業進捗の見込み	地すべり変動が活発であることから効果的な対策を検討しながら、平成29年度の概成を目指して進める。						
対応方針	事業継続						
対応方針理由	これまでの対策により、沈静化したブロックもあるが、依然滑動の続くブロックがあり対策の必要がある。また、地元からの要望が高く、事業に対し協力的であり、事業進捗が見込めることから総合的に判断した。						

※総費用、総便益は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

継続の理由

区域内では、地すべり滑動が続いていることに加え、想定される被害や社会的影響も大きい。また、上記の事業評価結果より費用対便益が 4.0と大きく、事業進捗率も82%と事業完了が比較的近い。
したがって、地域の人命・財産の保全するため、平成29年度の完成に向けて地すべり対策事業を継続する。